

須坂の伝統野菜について

長野県内には、歴史と気候風土に育まれ多彩な味と香りを持ったいわゆる伝統野菜・地方品種と呼ばれる野菜が各地で50種以上栽培され、全国的に見ても稀な県とされています。ただ、伝統野菜のおかれた状況は厳しく、大量生産・流通・消費、周年安定生産といった社会の変化にさらされ、消えかかっているのが現状です。須坂市にも、今日まで残る伝統野菜として、「[沼目越瓜\(しろうり\)](#)」「[八町きゅうり](#)」「[村山早生ごぼう](#)」があります。

市では、これら伝統野菜を「生きた文化財」ととらえ、その遺伝的多様性を維持するため、伝統野菜の伝承・復活の取り組みを支援しています。

(須坂市オフィシャルWEBサイトより)



須坂園芸高校にて、八町きゅうりをバックにして



当院でも、「地域食材の活用」、「生産した人の顔が見える食材」、「伝統野菜を皆様に味わっていただきたい」との願いより、八町きゅうり、村山早生ごぼうを使っています。その第一弾として、須坂園芸高校の生徒さん達が作った八町きゅうりを提供いたします。八町きゅうりとは、高甫地区で伝統的栽培方法で栽培されたものを指すようですが、須坂園芸高校が、一番最初に伝統野菜の復活のため取り組み始めたようです。